



## 変化が激しい時代だからこそ、 アナログの新聞が役に立つ

最近ではデジタル革命が急速に進み、ニュースもほとんどの人が、スマホなどを使ってネットから得る時代になっています。アナログ媒体の代表である新聞は、斜陽産業であるとさえ言われます。

しかし、私はそうは考えていません。環境変化が激しい時代だからこそ、ビジネスに携わる企業経営者にとっては、アナログ媒体の新聞が役に立つということを強調したいと思います。

ビジネスには2つの大きな使命があると私は思っています。1つは明確な使命感、目的感を持って、社会に貢献し続けること。どの会社もその目的を明文化した企業理念、社是を持っています。理念なき経営は、経営とは言えません。ただ、その社会貢献という使命は、継続しないと意味がありません。継続の原資は利益です。したがって、ビジネスを継続するために、売り上げの拡大とコスト管理の意識を持って利益を上げ続けることが、2つ目の使命となります。これが経営戦略です。

経営戦略を実効あるものにするためには、情報が必要です。情報を早く、正確につかみ、世の中の流れ、また、その変化を知って、先を読むことが重要です。そのためには、新聞という媒体が役に立つと考えます。

速報性では確かにネットに一步譲ります。しかし、新聞には次のような、アナログならではの特性があります。

①信頼性、②一覧性、③分析力、④記録性——です。新聞の命は、ニュースのスクープです。ただ、そのスクープもニュースの2大要素、すなわち「真実であること」と「公平であること」が担保されていなければなりません。したがって、新聞記者はできる限り取材の間口を広げて、裏を取る努力をしています。いわゆるガセネタは徹底的に排除します。これが①の信頼性につながります。

また、新聞はニュースの大小を、それぞれの社の価値判断により、1つのページの見出し（タイトル）の大きさによって、読者に伝えています。これが②の一覧性です。③の分析力とは、極めて多くの情報を掲載できるという、紙の媒体ならではの特性を生かして、ニュースの中身、すなわち起きていることの実態だけでなく、そのニュースの背景を解説し、今後の影響を展望して、提言まですることができるといえることです。そして、紙の媒体の特性として、簡単に切り抜きができてスクラップ保存ができるという特性も持っています。これが④の記録性で、テーマを決めてニュース記事を集め、時系列に沿って順番にスクラップすることが、流れをつかんで先を読むための最大の武器になります。もちろん、情報を得るためには、新聞だけでは十分ではありません。早く情報を得るためには、ネットの活用も大事です。

ネットで最新のニュースをつかみ、新聞でその中身を詳細に知り、ビジネスに関するニュースであれば、ネットに戻って、その企業や団体のホームページでさらに詳しい情報を得るといったサイクルを回すことをお勧めしたいと思います。

日本経済新聞社委嘱ライター 坂川弘幸



### ～四支援機関による合同交流会を開催～

- ・ 3月15日（水）に大阪産業創造館にて「IAG、関西ニュービジネス協議会、大阪NPOセンター、ベンチャーエンタープライズセンター」によるベンチャー企業とサポーター（オーナー企業や支援機関など）との合同交流会が開催され、アドバイスや情報交換など活発に行われました。
  - ・ 当日はサポーター、ベンチャー、スタッフで総数60名近い参加者があり、テーブル毎に新規参加のベンチャーとサポーターとが同席しそれぞれが熱心に発言され、熱気ムンムンの会場となりました。
  - ・ またサポーターの方々には日頃お目にかかれない方も多く、ベンチャーの方には貴重な出会いの場でもありました。
  - ・ 我々支援機関としましても単に交流だけでなくビジネスが進展できるきっかけ作りとなることを目標に、今後とも行動して参りたいと思っております。
- 皆様ご協力有難うございました。



VEC関西支部 事務局

### ◆トピックス

#### ～VEC理事の下條武男氏が2010年6月に引続き書籍を発刊されました

昭和6年大阪市生まれの同氏はVEC創立以来、現在も理事としてご尽力頂いております。

1967年3月に日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社を設立され2000年9月にジャスダックへ上場、素晴らしい発展をなされています。

現在は同社名誉会長としてベンチャーの為に長年の間ご支援ご協力をなされ、まさに生涯現役であります。今年3月の創立50周年を機に発刊されましたので、人生や経営の指南書としてもお勧めいたします。

タイトル「続 楽しくダイナミックに！360°思考で生涯現役」

発行・日刊工業新聞 定価（本体1,500円+税）



## 元バンカー・キャピタリストとして長年ご活躍されて来られた大江雄治氏に

今までのご経験に基づくメッセージを頂きました。

これからもご意見番として社会貢献されることをご期待いたします。

Q. 長年ビジネスの世界に関われることが出来る秘訣や必要な心得をお教え下さい。

A. 3点申し上げます。

- ・まず自分の将来を考えて「駕籠」に乗る人を目指すことです。（駕籠に乗る人担ぐ人、そのまた草鞋（わらじ）を作る人。の諺から「わらじ」を作る人から「かご」に乗る人になる努力が必要）
- ・上司・同僚・関係者とのコミュニケーション（人間関係）や物事のタイミング、表現の付度（そんたく）が大事です。特に口は禍（わざわい）の元です。
- ・日常の自己研鑽と自己管理の継続は大事です。

Q. 現在、現役でご活躍されているビジネスウーマン・ビジネスマンが今からやっておくべき事は何でしょうか。

A. 3点申し上げます。

- ・どのような仕事の方でも財務・会計の勉強をして下さい。お金の流れを知ることは個人でもビジネスでも必須です。
- ・人生や仕事の先輩と交わる努力をする。経験のある人から学ぶことは多いです。
- ・女性の活躍が広がっていますが、仕事も家庭も共にパーフェクトにこなすのは無理があります。それには男性の協力は必要です。

Q. ベンチャーや創業に対してのアドバイスをお願いします。

A. 4点申し上げます。

- ・資金繰、資金の手当が最優先です。
- ・世間で言われているほど起業は簡単なものでないことを知っておく。
- ・起業した人同志での情報交換や先輩創業者からの経験談や意見を聞き失敗を防ぐ。
- ・関西の上場企業増加のためには、大阪・京都・神戸のブランド力を上げ、海外にも知名度を上げることが必要です。

Q. 今まで企業の役員や監査役など豊富なご経験をされていますが、企業経営者に期待されること何でありますか。

A. 4点申し上げます。

- ・変化に対応した弾力的な経営が必要。
- ・どの企業でも事業継承は必ず来るので準備は早めに。
- ・役員は経営者や会社の為に積極的な提言・行動が求められる。
- ・監査役も正しい企業経営のために自己研鑽が必要です。

## 訪日外国人（インバウンド）向け「外貨両替機」のご紹介

「オウ！ ワタシ ニホンエンガ タリマセン。 ドウシマショウ！」

最近、多くの外国人が日本を訪れるようになった。自国を出発するときに、通貨を「日本円」に両替してくるが、買い物が増えたり、食べ過ぎたり、観光し過ぎたりして、手持ちの「円」が足りなくなることがある。そういった時に、手持ちの通貨を「円」に両替してくれるところがなかなか見当たらない。

そこでこの「外貨両替機」をホテルやコンビニなどの店先において置くと、手軽に両替が出来るので便利だ。

かつては銀行以外では、両替は出来なかったが、現在では、規制緩和でどこでも出来る。

まだ出回っていないが、便利なので、訪日外国人に喜ばれている。これからはドンドン設置が期待できる。

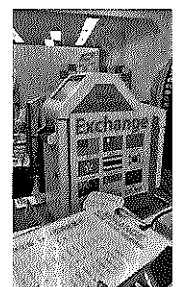
タイプは2通りあり、1つは外貨（紙幣）を入れると、「円」（紙幣、硬貨）が出てくるATMに似たタイプだ。もう1つは外貨を入れると、伝票が出てきて、これをレジに渡すと「円」に換えてくれるコンパクトタイプ。為替レートもその日、その日のレートになっている。

12ヶ国語の紙幣を自動認識し、ドルや元を始め、最大12通貨を選択できる。操作画面は、日本語、英語、中国語、韓国語の4ヶ国語で表示されているので心配ない。偽札はハジクし、そのまま通しても、会社が保障してくれる。

（メーカー代理店：株式会社シンカネット）

今、この機械を店先などに置いてくれるところを探している。今がチャンス！

（詳しくは株式会社セールスステップコラボにお問い合わせ下さい）



写真説明

上段 自動外貨両替機  
下段 外貨両替端末機

MAIL: horibe@salesrep-co.com FAX: 06-6262-9882  
株式会社セールスステップコラボ 代表取締役 堀部武司

### ～VEC関西より～

・あと一息で春爛漫、桜前線が南から北へと日本列島を横断します。長かった冬から春。野山の新芽が緑に輝き、夏への準備期間として華やかな、何となく浮き浮きの季節です。桜が咲けば日頃の鬱憤を忘れ、わが身を花の中に横たえ咲き誇る花を通して青空を眺めてみようかと待っています。きっといいアイデアも浮かぶかも・・・（本田）

・四天王寺近辺に行く機会があり、久しぶりに参道を歩いて来ました。ちょうどお彼岸だったので老若男女で賑わっていました。お彼岸の季節は春には牡丹の花・「ぼた餅」、秋には萩の花・「おはぎ」季節により名前が変わる・・・日本の風情を感じますね。私は四天王寺で有名な釣鐘饅頭を買って帰りました♪（藤本）

・3月1日を皮切りに2018年度卒業予定の大学生の就職の企業説明会がはじまり交通機関には足取りも早い就活スタイルの男女の学生さんの姿をよく見

かけます。毎年この光景をみて思うことは自分の就活の時どんな事を考えながら色々な企業に説明会に参加していたらどうかと自分と置き換え懐かしくもあります。「自分らしさ」をモットーに頑張っていたのかな？（濱本）

・昭和6年生まれの下條様（VEC理事・日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社 名誉会長）は現在も多方面においてご活躍中で生涯現役そのものがあります。日経新聞ご出身の坂川様、大和銀行（現・りそな）ご出身の大江様からは長年の業界ご経験から貴重なメッセージを頂きました。インバウンドの増加により外貨両替機も活躍するかもしれません。新しいビジネスに期待します。（澤村）

<交流会の予定>

平成29年5月29日（月） 柳野国際特許事務所 弁理士 柳野 嘉秀 様

一般財団法人 ベンチャーエンタープライズセンター関西支部  
〒541-0053 大阪市中央区本町2-3-6 本町ビジネスビル9階  
TEL 06-6263-0366 FAX 06-4964-6293